

【群馬県初】環境価値を「物語」でつなぐプラットフォーム 「G-terrace(ジーテラス)」プロジェクトが始動 3月17日に県庁「NETSUGEN」にてキックオフセミナーを開催

単なる売買から、共感による支援へ
J-クレジット等の「環境クレジット」の背景にあるストーリーに光を当て
創出者と購入者が共に育つ「群馬モデル」の構築を目指す



群馬県沼田市(市長:星野 稔)は、令和7年9月に「地域GX推進等に関する包括連携協定」を締結した株式会社サンワ(本社:群馬県前橋市、代表取締役社長:遠藤宗司)及びアストモスエネルギー株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:佐藤 利宣)の協力のもと、県内における環境価値(J-クレジット等)の地産地消を推進するため、新プラットフォーム「G-terrace(ジーテラス)」の構築プロジェクトを始動いたしました。

本プロジェクトは、国などの制度により認証されたJ-クレジットをはじめとする「環境クレジット(以下「クレジット」といいます。))」を、単なる取引対象として扱うのではなく、創出者の想いや活動背景にある「物語」とともに紹介することで、共感によるマッチング(売買)を促進する取り組みです。「顔の見える」プラットフォームを通じて、クレジットの創出者と購入者を増やし、地域経済と自然環境が共に豊かになる好循環(サーキュラーエコノミー)の実現を目指します。

つきましては、本構想の周知と機運醸成を図るため、来る令和8年3月17日(火)に群馬県庁32階「NETSUGEN」にてキックオフセミナーを開催いたします。



▼ランディングページはこちら



<https://www.sun-wa.co.jp/g-terrace/>

背景と目的

脱炭素社会の実現に向け、「J-クレジット制度」をはじめとする環境価値を認証する仕組みは整備されています。しかし、市場で取引されるクレジットは、その価値を生み出す背景までは見えず、単にカーボンオフセット等のための消費に留まっているのが現状です。

そこで沼田市は、既存の認証制度を活用しつつ、そこに「物語(ストーリー)」という付加価値を載せて、群馬県内におけるクレジットの創出と購入を促進する独自のプラットフォーム構築に着手しました。

コンセプト

「群馬の力で未来をテラス 想いを価値に」

名称には、沼田市のシンボルであるテラス沼田のように「人が集う交流の場」と未来を「照らす」という二つの意味を込めました。見えなかった環境価値に光を当て、人、企業、行政、自然がつながり合い、群馬の未来を明るく照らしていく。それがG-terraceのミッションです。

特徴



「顔」と「物語」が見える、環境クレジットの地域循環

G-terraceが取り扱うのは、数値化されたクレジットだけではありません。

「誰が、どんな想いで森を守っているのか」「どのように生物多様性を育てているのか」

創出者の横顔や活動の背景にある物語にフォーカスし、群馬で創出される環境クレジットを地域で循環することで、その価値向上とブランド形成を推進します。

また、環境クレジットの購入を希望する方は、本プラットフォームを通じて創出者の物語に触れることで、そのクレジットの価値をより鮮明に語るができます。

学び、つながり、広げる。GXを「コスト」から「誇り」へ

G-terraceは、単なる「取引所」ではなく、環境と経済の両立を目指す仲間が集う「学びと交流の場(テラス)」です。先進的な事例を学ぶセミナーや、実際の保全現場を訪れるフィールドワークなどを通じて、創出者と企業が交流できる機会を提供します。「やらなければならないGX(コスト)」から、「未来への投資・企業の誇り(ブランディング)」へ。意識を変え、活動を広げ、やがて地域のシンボルとなるような新しい環境文化を、ここから共創します。



▲写真向かって右が星野市長、左が㈱サンワ 代表取締役社長 遠藤 宗司 様

沼田市長 星野 稔

世界中で気候変動対策が叫ばれる昨今、地方における脱炭素社会、いわゆる「GX(グリーン・トランスフォーメーション)」の実現は、早急に取り組むべき喫緊の課題です。

豊かな森林と水資源に恵まれた「森林文化都市」である沼田市にとって、首都圏の水がめを支え、美しい自然を未来へ残すことは、大きな誇りであり責務でもあります。

しかし、森や自然を守る活動には、多大な労力と費用を要します。これをボランティアや補助金だけに頼るのではなく、経済的な価値を生む「持続可能な産業」へと転換していかなければなりません。

これは、私どもが策定した「森林文化都市アクションプラン」の根幹をなす、極めて重要な考え方です。

本日、その実現に向けた新たな社会基盤として、群馬県内の環境価値を「地産地消」するプラットフォーム「G-terrace(ジーテラス)」構築プロジェクトを始動いたしました。本プロジェクトは、昨年9月に「地域GX推進等に関する包括連携協定」を締結した株式会社サンワ様、アストモスエネルギー株式会社様との強力なパートナーシップのもと、官民共創で推進してまいります。

「G-terrace」という名称には、本市のシンボルであるテラス沼田のように「人が集う交流の場」と、未来を「照らす」という二つの意志を込めました。

私たちが取り扱うのは、J-クレジットをはじめとする「環境クレジット」ですが、これを単なる取引商品として右から左へ流すようなことはいたしません。創出者の「先祖代々の森を残したい」という切実な想いや、活動の背景にある物語に光を当て、それに共感する企業の皆様とつなぐことで、顔の見える温かい経済循環の実現を目指します。

これまで「コスト」と捉えられがちだった環境への取り組みを、「地域への投資」へ、そして企業のブランドを高める「誇り」へ。沼田市で生まれた価値が県内企業を支え、巡り巡ってまた森を豊かにする。そんな「環境と経済が共に育つ好循環」を、この地から作り上げていく所存です。

まずは来る3月17日、群馬県庁「NETSUGEN」でのキックオフセミナーより、多くの企業の皆様と共に歩みを進めてまいります。

自治体主導の新たなGXモデル、「G-terrace」の展開にどうぞご期待ください。



▲写真中央右が星野市長、左が㈱サンワ 代表取締役社長 遠藤 宗司 様、その他は、㈱サンワ、アストモスエネルギー(株)、沼田市に所属するプロジェクトメンバー

株式会社サンワ 代表取締役社長 遠藤 宗司

私たちの企業を取り巻く環境は、いま大きな転換期を迎えております。気候変動への対応、資源の有効活用、働き方の多様化など、社会課題は複雑さを増していますが、その一つひとつは、企業が地域とともに成長していくための重要なテーマでもあります。

株式会社サンワは2月11日に創業80周年を迎え、1946年の創業以来、これまでガソリンやLPガスなどのエネルギー供給を通じ、地域の暮らしや産業を支えてまいりました。

しかし、化石燃料は利便性が高い一方で、気候変動の一因となるCO2を排出するという側面も持ち合わせています。

昨今、群馬県内でも猛暑や豪雨災害が頻発しており、気候変動はもはや未来の話ではなく、現実の脅威です。だからこそ、エネルギーに携わる私たちには、真正面からこの課題に取り組む責務があると考えております。

弊社では「サンワGXビジョン2046」を掲げ、創業100年となる2046年に向け、CO2ネットゼロへの挑戦と、新たな産業・雇用を生み出す地域GX(グリーントランスフォーメーション)を推進しています。

自然環境の保護とエネルギーの安定供給、そして経済活動。これらを両立させ、持続可能な地域社会を実現することこそが、弊社のサステナビリティ方針です。

このたび始動する「G-terrace」は、まさにその具現化です。昨年9月の包括連携協定を経て、沼田市様が起点となり、群馬県内の環境価値を「地産地消」する物語の1ページ目を描いていただいたことに、心より感謝申し上げます。

ここ沼田は、サンワの創業の地でもあります。弊社の社訓である「脚下照顧、原点より飛躍」の言葉通り、今一度、足元である地域の原点を見つめ直し、環境・経済・社会が調和する未来へ向けて、皆様と共に大きく飛躍していく所存です。

アストモスエネルギー株式会社 執行役員 東日本統括 兼 関東支店長 倉持 大輔

このたび、沼田市様、株式会社サンワ様とともに「G-terrace」プロジェクトを始動できることを大変光栄に存じます。

アストモスエネルギーは、世界初となるカーボンオフセットLPガスの輸入調達をはじめ、防災性を高めるエネルギー設備更新のご提案、さらにはLPガスそのものの脱炭素化など、地域に根差したエネルギーであるLPガスの価値向上に努めてまいりました。

また、サンワ様とは長年にわたり強固なパートナーシップを築き、同社のご尽力を通じて、沼田市をはじめ群馬県内の安定したエネルギー供給を支えてまいりました。

国の第7次エネルギー基本計画では、再生可能エネルギーの活用拡大が示され、地域ごとに最適なエネルギーの組み合わせや、災害に強い分散型の供給体制づくりが求められています。しかし、太陽光などの再生可能エネルギーは天候によって出力が変わりやすく、災害時の安定供給においても課題が残ります。

その点、LPガスは運びやすく備蓄できるという特性から、地域のエネルギーを支える“最後の砦”として大きな役割を果たしています。群馬県内では一般家庭の約6割がLPガスを利用しており、産業用途でもクリーンエネルギーとして高い有用性を発揮しています。

当社は、地域で取り組む新たなGXモデルを検討するなかで、「環境価値を地域内で循環させる仕組み」が重要であると考えてまいりました。その実現に向けて、Jクレジットなどの環境クレジットを地域内で活用し、行政・企業・団体・生活者など、多様な主体が参画できるプラットフォームを検討しておりました。

この理念に沼田市様とサンワ様が共感してくださり、両者の多大なるご支援のもと、本プロジェクトを「G-terrace」として形にすることができました。

当社は今後も、制度設計、地域防災、省エネ・省CO2に関する知見提供を通じて、持続的な運営をしっかりと支援してまいります。

本プロジェクトが、群馬発の新たな地域GXモデルとして広がり、地域の持続的な成長へとつながることを心より期待しております。

キックオフ

本プラットフォームについてご紹介するキックオフセミナーを下記のとおり開催します。
詳細については、添付チラシを合わせてご覧ください。

名称	(仮称)ぐんま環境クレジットプラットフォーム「G-terrace」キックオフセミナー
日時	令和8年3月17日(火) 午後1時30分～3時(受付: 午後1時～)
会場	官民共創スペース「NETSUGEN」(群馬県庁32階)
参加費	無料
定員	30名(予定)
対象者	・群馬県内でのクレジットの創出に関心のある事業者・団体(創出者) ・脱炭素経営や地域貢献に関心のある企業(購入者)
申込方法	ランディングページの申込フォームからお申し込みください。

G-terrace
NETSUGEN セミナー

ここから始まるG-terraceの輪
誕生の背景と仕組みについて解説します

豊かな森林を守りたい。
地域の資源を未来に残したい。

そんな思いを胸に、森林整備や省エネ・再エネ導入、
生物多様性の保全に取り組み人たちがいます。
「G-terrace」は、その一つひとつの営みと、込められた思いに光を当て、
環境価値として見える化し、価値として伝えていく場(テラス)です。
群馬で生まれたJ・クレジットなどの環境クレジットが地域で循環し、
共創した仲間が増え、盛り込みの輪が広がっていく。
人、企業、行政、そして自然がつながり合いながら、地域と地球の未来を、
確かに、やさしく、明るくテラスこと。それが「G-terrace」のミッションです。

セミナー内容

- 群馬県はGXをどう加速させるか。
新年度予算から見る県の戦略
登壇: 群馬県知事政務部グリーンイノベーション推進課 補佐 原口大樹様
- Jクレジット創出と活用事例
～「官民共創」で推進する地域GXとLPガスから広がる、
持続可能なまちづくり～
登壇: 沼田市のまちづくり課 / 沼田ワサナナヒリテック推進室
- ぐんま環境クレジットプラットフォームの紹介
登壇: 運営事務局サンプ
- パネルディスカッション
登壇: 上記登壇者
- 質疑応答

2026.3.17 TUE
13:30 - 15:00 受付開始 13:00

場所 NETSUGEN
(群馬県庁32階)

定員 30名程度 参加費 無料

参加申し込み方法
右記QRコードより参加申し込みが必要です
申し込み締切: 3月13日(金)まで

共創パートナー SUNWA 沼田市 森林文化都市 Astomos Energy

今後の展望

共創パートナーとともに細部の準備を進め、令和8年度中の本格始動を目指します。

共創パートナー

株式会社サンワ、アストモスエネルギー株式会社

【本件に関するお問い合わせ】
沼田市 総務部 企画政策課 企画政策係